

2026年3月2日発行
V05L23R1

ES/1 NEO

CSシリーズ

V05L23R1

Release News Letter

機能拡張

 株式会社 アイ・アイ・エム

改版履歴

日付	版数	内容
2026/03/02	1	V05L23R1 リリース

目次

第 1 章	はじめに.....	1
1.1.	V05L23R1 における大きな機能拡張ポイント.....	1
第 2 章	前リリースとの性能比較	2
2.1.	ES/1 NEO CS シリーズ V05L22R1 / Performance Web Service V05L22R1 との比較	2
第 3 章	ES/1 NEO CS シリーズ全般	3
3.1.	ES/1 NEO CS シリーズのサポートについて	3
3.1.1.	ES/1 NEO CS シリーズのサポート期間	3
3.1.2.	通常サポート中とサポート終了後の違い.....	3
3.2.	Control Center のサポートについて	3
3.2.1.	Control Center のサポート期間	3
3.3.	既存機能の拡張	4
3.3.1.	Microsoft Windows Server 2025 対応	4
3.3.2.	Microsoft 365 定期稼働確認 (2026 年 1 月)	5
3.3.3.	jre のバージョンアップ	6
3.3.4.	Apache Log4j のバージョンアップ.....	7
第 4 章	Acquire	8
4.1.	新機能の提供.....	8
4.1.1.	Acquire 12.80 の提供	8
第 5 章	Control Center	9
5.1.	新機能の提供.....	9
5.1.1.	Control Center 12.80 の提供	9
第 6 章	pdbmagic2	10
6.1.	既存機能の拡張	10
6.1.1.	Syncsort Capacity Management 12.80 への対応	10
6.1.2.	AIX 「Online Virtual CPUs」データ項目への対応	11
第 7 章	CS-i5	12
7.1.	機能拡張	12
7.1.1.	IBM i 7.4 への対応.....	12
第 8 章	CS-Java for JBoss	13
8.1.	既存機能の拡張	13
8.1.1.	JBoss 7.4.0 への対応	13
第 9 章	CS-Storage for NetApp.....	14

9.1. 既存機能の拡張.....	14
9.1.1. ONTAP 9.16.1 への対応.....	14
第 10 章 変更一覧	15
10.1. 本リリースより、出力される値（数値／文字列）、表示の変更一覧	15
10.1.1. 変更一覧	15

第1章 はじめに

1.1. V05L23R1 における大きな機能拡張ポイント

本リリースでは、以下の大きな機能拡張が行われています。詳細な内容につきましては、各機能の紹介ページを参照してください。

(1) Acquire/Control Center : バージョン 12.80 の提供

P.8, 9

第2章 前リリースとの性能比較

2.1. ES/1 NEO CS シリーズ V05L22R1/Performance Web Service V05L22R1 との比較

本リリース「ES/1 NEO CS シリーズ V05L23R1/Performance Web Service V05L23R1」と「ES/1 NEO CS シリーズ V05L22R1/Performance Web Service V05L22R1」で処理時間を比較した結果です。

コンポーネント		結果	備考
pdbmagic2		－	変化なし
インポート処理		－	変化なし
CS-MAGIC		－	変化なし
CS-ADVISOR		－	変化なし
Flatfile Maintenance	検査	－	変化なし
	集約	－	変化なし
	管理	－	変化なし
CS-REPORT		－	変化なし
Performance Web Service Uploader		－	変化なし
Performance Web Service Maintenance 定期メンテナンス		－	変化なし

●結果の記号について

- － : 変化なし
- ◎ : 処理時間が2割以上短縮
- : 一部の処理または条件で処理時間が短縮
- ▲ : 処理時間が2割以上増加

メモ!

実行環境のスペックや処理量によって同じ結果が得られない場合があります。

第3章 ES/1 NEO CS シリーズ全般

3.1. ES/1 NEO CS シリーズのサポートについて

3.1.1. ES/1 NEO CS シリーズのサポート期間

ES/1 NEO CS シリーズのサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース	サポート終了
V05L23R1	2026/03/02 リリース	2028年10月31日 サポート終了
V05L22R1	2024/02/01 リリース	2026年10月31日 サポート終了

3.1.2. 通常サポート中とサポート終了後の違い

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正モジュールは、最新リリース、またはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正モジュールを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可
不具合修正モジュールの提供	可	不可

3.2. Control Center のサポートについて

3.2.1. Control Center のサポート期間

Control Center のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース	サポート終了
Control Center 12.80	2026/03/02 リリース	2028年10月31日 サポート終了
Control Center 12.50	2024/02/01 リリース	2026年10月31日 サポート終了

3.3. 既存機能の拡張

3.3.1. Microsoft Windows Server 2025 対応

分類	数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-

○概要

CS シリーズ製品の稼働プラットフォームとして、Windows Server 2025 に対応しました。

○対応製品

- ・CS-MAGIC
- ・CS-ADVISOR
- ・CS-REPORT
- ・Flatfile Maintenance
- ・管理コンソール

3.3.2. Microsoft 365 定期稼働確認 (2026 年 1 月)

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	-

○概要

下記 Microsoft 365 のバージョンについて、CS シリーズが動作することを確認しました。

Microsoft 365 Excel によるグラフ作成

CS-MAGIC

Microsoft 365 Word による報告書作成

CS-REPORT

○サポートバージョン

半期エンタープライズチャンネル

バージョン 2508 (ビルド 19127.20484) 32 ビット

3.3.3. jre のバージョンアップ

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	—	—	—

○概要

弊社製品で使用する JAVA(JRE)を、Oracle 社提供の OpenJDK から Amazon Corretto 11 (LTS) に変更します。本リリースでは、バージョン 11.0.29.7.1 をバンドルします。

○効果

JAVA に関する既知の脆弱性や不具合対応が適用され、より安全で安定した動作が可能となります。

○詳細

弊社セキュリティポリシーにより、開発時点での最新 JRE を適用しております。

以下の製品が対象です。

- ・CS-Hyper-V
- ・CS-VMware
- ・CS-Storage
- ・pdbmagic2
- ・iim configuration assistant
- ・iim collect
- ・Performance Web Service
- ・Performance Web Service Maintenance
- ・Performance Web Service Uploader

○注意

CS-Java については、アプリケーションサーバを考慮する必要があるため、本件の適用外となります。例として、古いアプリケーションサーバでは、CS-Java の JRE のバージョンを新しくすると接続ができなくなる場合や、アプリケーションサーバ側にパッチを当てなければならない場合があります。

3.3.4. Apache Log4j のバージョンアップ

分類	数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供 既存機能の拡張	-	-	-

○概要

弊社製品で使用する Apache Log4j のバージョンを、2.25.2 に変更しました。

○効果

Apache Log4j に関する既知の脆弱性や不具合対応が適用され、より安全で安定した動作が可能となります。

○詳細

弊社製品では、ログ出力処理において一部で Log4j 1 系 API を利用していました。

本リリースより、Log4j 1 系 API による呼び出しを Log4j 2 系で扱えるように変換する互換レイヤ (log4j-1.2-api) を採用し、ログ処理の実装部分 (log4j-core) については Log4j 2 系の実装コアへ差し替えました。

① Log4j 2 系ライブラリの配布

Log4j 2 系ライブラリをリネームして配布します。

配布ファイル	log4j 2 系ライブラリ	説明
log4j.jar (既存ファイルの置換)	log4j-api-2.25.2.jar	アプリケーションからの呼び出しを受け付けるライブラリ
log4j-1.2-api.jar (新規に配布するファイル)	log4j-1.2-api-2.25.2.jar	Log4j 1 系 API を Log4j 2 系で利用するための互換レイヤ
log4j-core.jar (新規に配布するファイル)	log4j-core-2.25.2.jar	Log4j 2 系としてログ処理を行う実装コア

② log 出力設定ファイルの差し替え

Log4j 1 系と 2 系では設定ファイルのフォーマットが異なるため、これまでの log4j.properties に代えて、Log4j 2 系形式の log4j2.properties を新たに配布します。

○対象製品

- ・CS-Hyper-V
- ・CS-VMware
- ・CS-Storage
- ・CS-AWS
- ・pdbmagic2
- ・iim configuration assistant
- ・iim collect
- ・Performance Web Service
- ・Performance Web Service Maintenance
- ・Performance Web Service Uploader

第4章 Acquire

4.1. 新機能の提供

4.1.1. Acquire 12.80 の提供

	分類	数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	-

○概要

本リリースから、対象サーバ上でパフォーマンスデータを取得する基本データ収集機能「Acquire」の新バージョン12.80を提供します。Acquire 12.80の対応環境は、以下のとおりです。

Windows Server 2019

Windows Server 2022

Windows Server 2025

AIX 7.2-7.3

Solaris 11.3-11.4

HP-UX 11.3i

Red Hat Enterprise Linux 7.9 (x64, System z)

Red Hat Enterprise Linux 8.0-8.10 (x64, System z)

Red Hat Enterprise Linux 9.0-9.6 (x64, System z)

Red Hat Enterprise Linux 10.0 (x64, System z)

SUSE Linux Enterprise Server 12.5 (x64, System z)

SUSE Linux Enterprise Server 15.3-15.7 (x64, System z)

Oracle Linux 7.9 (x64)

Oracle 19c

SQL Server 2016

SQL Server 2017 (Windows版)

SQL Server 2019 (Windows版) ※累積更新プログラム CU8以降が必要

SQL Server 2022 (Windows版)

Symfoware 11

Symfoware 12 ※Nativeインターフェースのみ対応

IIS 10.0

第5章 Control Center

5.1. 新機能の提供

5.1.1. Control Center 12.80 の提供

	分類	数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	-

○概要

本リリースから、管理用マシン上でパフォーマンスデータの変換／蓄積を行うデータ管理機能「Control Center」の新バージョン12.80を提供します。Control Center 12.80の対応環境は、以下のとおりです。

Windows Server 2019

Windows Server 2022

Windows Server 2025

SQL Server 2016

SQL Server 2017 (Windows版)

SQL Server 2019 (Windows版) ※累積更新プログラム CU8以降が必要

SQL Server 2022 (Windows版)

○前提

上記のSQL ServerのEnterprise Edition、Standard Editionが導入要件となります。

Express Edition、Essentials Editionは、サポート対象外です。

第6章 pdbmagic2

6.1. 既存機能の拡張

6.1.1. Syncsort Capacity Management 12.80 への対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	-

○概要

pdbmagic2 で Syncsort Capacity Management 12.80 に対応しました。

○前提

Syncsort Capacity Management 12.80 を使用

○詳細

Syncsort Capacity Management 12.80 のパフォーマンスデータベースから中間フラットファイルを出力します。
また、「pdbmagic2 設定 - ターゲット」における Acquire バージョンの選択肢に「12.80.0」を追加しました。

6.1.2. AIX 「Online Virtual CPUs」データ項目への対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	—	—	AIX

○概要

AIX 環境にて `lparstat -i` コマンドで取得している「Online Virtual CPUs」データ項目に対応しました。

CS シリーズ V05L23R1 の pdbmagic2 にて、フラットファイルに出力します。

「Online Virtual CPUs」は、その LPAR に現在「オンライン状態で割り当てられている仮想 CPU (vCPU) の数」を示します。

○効果

構成変更が生じた際に、「Online Virtual CPUs」値を含めたグラフに自動反映されます。

○前提

AIX 環境にて Acquire でデータ取得していること

Acquire のバージョンは 11.20 以上であること

○詳細

以下のデータ項目を追加しました。

プロセッサ (表名:ATCPU)

列名	説明
OLVCPU	(AIX)Online Virtual CPUs

○使用方法

CS シリーズ V05L23R1 で、pdbmagic2 を実行します。

第7章 CS-i5

7.1. 機能拡張

7.1.1. IBM i 7.4 への対応

分類	数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供 既存機能の拡張	—	—	i5

○概要

CS-i5 において、IBM i 7.4 の環境に対応しました。

○効果

IBM i 7.4 環境の統計情報を取得し、CS-MAGIC にてグラフを作成できるようになります。

第8章 CS-Java for JBoss

8.1. 既存機能の拡張

8.1.1. JBoss 7.4.0 への対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	-

○概要

CS-Java for JBoss が対象とする JBoss のバージョンを拡充しました。

RedHat : JBoss Enterprise Application Platform 7.4.0
--

○使用方法

CS-Java configuration assistant の「アプリケーションサーバ選択」画面にて、JBoss のバージョン「7」を指定し、設定を行います。

第9章 CS-Storage for NetApp

9.1. 既存機能の拡張

9.1.1. ONTAP 9.16.1 への対応

分類	数値変更	表示変更	特記事項	
新機能の提供	既存機能の拡張	-	-	NetApp

○概要

CS-Storage for NetApp にて、ONTAP 9.16.1 に対応しました。

○条件

ONTAP 9.16.1 にバージョンアップ後、ONTAPI(ZAPI)を再有効化した場合に限りです。

○効果

ONTAP 9.16.1 環境の統計情報を取得し、CS-MAGIC にてグラフを作成できるようになります。

第10章 変更一覧

10.1. 本リリースより、出力される値（数値／文字列）、表示の変更一覧

10.1.1. 変更一覧

数値変更	表示変更	プロダクト	内容
		Acquire	Acquire 12.80 の提供
		Control Center	Control Center 12.80 の提供
		pdbmagic2	Syncsort Capacity Management 12.80 への対応
		pdbmagic2	AIX 「Online Virtual CPUs」データ項目への対応
		CS-i5	IBM i 7.4 への対応
		CS-Java for JBoss	JBoss 7.4.0 への対応
		CS-Storage for NetApp	ONTAP 9.16.1 への対応

数値変更 : 本バージョンの適用により、出力される値（数値/文字列）に変更がある場合に●が付きます。

表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます。